

公表日 令和5年1月19日

事業所名 どんこきっす

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●				
	② 職員の配置数は適切であるか	●			配置基準よりも多くの職員を配置しています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	●			バリアフリーにはなっていないが、ヒヤリハット事例に対応し、マットや緩衝材などの整備を整えています。活動目的に合わせて空間の構造化を行っています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	●			毎日の清掃・消毒活動や、曜日ごとに清掃する箇所を決めて取り組むなど工夫をしています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●				
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			保護者の意見を参考に、今後に活かしていける点は職員間で話をしています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	●			地区担当者が訪問し、助言をいただいています。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			年4回の職員全体研修や研究会などで勉強の機会を確保し資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	●			発達支援・家族支援・地域連携を盛り込んだ支援計画を作成しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	●			発達支援・家族支援・地域支援の3本柱と、自分たちの取り組みが繋がっていることを各場面で共有しています。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	●				
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			平日・年長クラス・行事など、担当職員が適切なプログラムを考えています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			子ども達の興味を持てるような活動プログラムを考えて取り組んでいます。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	●			子ども達の状況に合わせて支援計画を作成しています。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●				
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●				
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			日誌として残しています。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	●			定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			児童発達管理責任者や対象児童をよく知る職員出席して情報共有を行っています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	●			保育園や幼稚園の関係機関と連携し支援を行っています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		●			対象児童はおりません

者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	●			対象児童はおりません	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	●			関係機関と定期的に連絡をとり、共通理解を深めています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	●			引継事項をまとめ、ご家庭から移行先へ渡してもらうようにしています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●			児童発達支援管理責任者を介して意見交換や情報共有を行っています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●				
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	●			管理者が子ども部会の委員として参画しています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			日々の送迎の際にお子様の状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。	
保護者への説明責任等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	●			日々の活動での様子やお子様の変化や成長をお伝えしたり、家庭での様子をお聞きしています。 ペアレントトレーニングを専門的に学んだ職員を配置していない為、支援は行えておりません。必要に応じて今後検討していきます。	
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約の時に伝えし、都度、ご家庭からのご質問に答えています。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	●			家庭説明時に、直接、保護者様と対面してお伝えし、内容をかみ砕いて共通認識を深めています。また、対面が難しい場合は電話にてやりとりをさせて頂き、同意を得ることに繋げています。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			相談に対しては都度、対応させて頂いています。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●			今年度は茶話会を2回開催することができました。内容もアイスブレイクを取り入れ、明るい雰囲気を作れるよう工夫しています。	
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			連絡ノートや送迎の際に、コミュニケーションを取らせていただいています。	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			毎月のお便りの中で、行事内容や連絡事項等を発信しています。賛助会員家庭には決まった月に会報を発行しています。	
	㉞	個人情報の取扱いに十分注意しているか	●			保護者から同意書を頂き、適切に取り扱っています。	
	㉟	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			ご家庭と相談して、必要な資源や方法でのやりとりをしています。	
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●			コロナ禍で地域に開かれた活動はできませんでしたが、避難訓練や地域の清掃等を実施し、地域の皆さんの目に触れる機会を作っています。	
	非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	●			危機管理委員会を選定し、多様なマニュアルの作成・修正を行っています。また、訓練の実施と、実際の現場を想定した模擬体験も会議の中で取り入れ、ご家庭に報告しています。
		㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			活動の中に避難訓練や不審者訓練を取り入れて、有事を想定して訓練しています。
		㊴	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	●			書面にも記録を残し、ご家庭と確認を取りながら進めています。
㊵		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	●			書面にも記録を残し、ご家庭と確認を取りながら進めています。	
㊶		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			事故防止検討委員会を選定し、職員ミーティングで事例を共有し再発防止の検討を行っています。	
㊷		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			虐待防止委員会を選定し、事業所内でも研修の機会を設けています。	
㊸		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	●			支援計画に身体拘束に関する事項を記載し、必要があればご家庭と共通認識をとり、必要事項を記載しています。	

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。